馬一○○頭、羊一○○頭牛三○○頭見當であと二日間に於ける數字を灌斷して見に於ける數字を灌斷して見いても先づ千五百頭位が關の

た的人な不景氣とは道に例 生より多く從つて包一戶に のき五圓を取立てる蒙古衛 門師でば豫湖外の忙しさで がよ古舞してみるか、賣上

自現在の商 計一六一戶

用上なかつた彼等が國幣に

二八〇人

まだ内蒙古の田舎には相富 連想し各族公署とも連絡、 他の好期を逃せず間收の做 底を神せんと馬力をかけて 扇から宣傳に努め大小國幣 を与んと川意し今日まで丸 を与んと川意し今日まで丸

依る各商人

呼倫貝爾の如き修遠の地で智 中央銀行出張所を訪べば喜悦 中央銀行出張所を訪べば喜悦

その独元が多人ない

がおして

40位

かつた、これ母原野島ち適と は各官衛の努力で道は出々と して一韓線に同け便消難ま無

最後に今年の甘珠剛駒の大法 ・で活動宮原を上映し党景の側 で活動宮原を上映し党景の側 を見襲つて夢中で観覚する景 を見襲つて夢中で観覚する景

段賑を置て込んで店を構へ聞くと

新に滿洲國法人組織の事業會 明は今回の學術調査團の收獲 記とり益々自信を强め十月中 により益々自信を强め十月中 により益々自信を弱め出現で では今回の學術調査團の收復 では、10年の投資會社を解消して

・との計畫を樹でてあるものゝ 一一千萬圓に增養し吉林省の一 一千萬圓に增養し吉林省の一 では、一大殖産王國を建設せん

明年度から

あるダイヤ街に延長し、料亭のたがぎ々々と出現し、遼には限ぎられた區域内に先を薫は限ぎられた區域内に先を薫ない。二、三、四條通に料亭東、二、三、四條通に料亭

2

料度 定本

證別 告金

一药警 就 問

行用力

(火)日五廿月九

設行

所

四日7

(群上映上演轉版)

晟後

0

女月人是漁鍋代ロロ

### 爆發的景氣來 事變三周年を迎 T (七)

その蔭に犯罪も數倍に增加

二、三件、窃盗三十五件內外 | 市民としては實に悲しむべきを見ると事變前までは詐欺、 は都市の發展にともなふ自然新京署司法係に現はれた統計 | 件三十 件と増 加した がこれ

あんたは家出をして來たん

愉快ではな

死るのを、快よく意味もなく、実して不要はなが、幸福感が

北下石 営方製人但素三笠町一丁目一四三笠町一丁目一四三元三元

彼常は、

は料亭三十五軒、飲食店十五 野の進出で市民を驚嘆せしめ あものがある 特別の的となつても 合作社は、既報の通り本年四十 合作社は、既報の通り本年四十 方の金融指導者として活躍す べく廿三日新京を出發したが 同時に朝鮮より採用された十 四人の新理事達も数日中に新 京に集り財政部に於て養成された 立立公布された金融合作社法及 したが が関係事項並に滿洲語の講習

本國歸還激

同殖產會社

千萬圓で愈よ組織

り八月に至るソ聯人の滿洲國り八月に至るソ聯人の滿洲國



には設立



十石が舊市街東安精米所に搬 水月初旬には一齊に出廻るも 水月初旬には一齊に出廻るも 水月初旬には一齊に出廻るも 格は特等品十四圓內外普通品 格は特等品十四圓內外普通品 選開報の本格的工作に入る 関籍の解氷期を待つて夾皮 營口米初荷 二十日田庄台より籾二國通」營口米本年の出 圓五十錢高 **爬五三九五天** 

満洲國側よりソ聯に引揚げた七十六名であるが、之に反し七十六名であるが、之に反し

--大同殖産岡顧問語る-

満洲國側よりソ聯

曜

第一料理店組合二十四

【吉林國通】大同殖産學術調 大同殖産學術調 大同殖産學術調 大同殖産學術調 は語る 頭賊の剿窟たる棒 縣の奥 へ僅か百名の警婦殿を以て は相當氣湿つてくれた機では相當氣湿つてくれた機では相當氣湿つてくれた機であるが我々の意氣に呑まれたか便賊も近附かなかつたたのみだ、今回の調査によれてのみだ、今回の調査により夾皮溝金鏃の價値が豫想

以上のものなるを發見したので調査関引揚後興賊に疑めて居る、門倉教授一行當つて居る、門倉教授一行當つて居る、門倉教授一行當のを充が警備隊は吉林で多籠りの用意を整へ亦直で多籠りの用意を整へ亦直で多籠りの用意を整へ亦直で多籠りの用意を整へ亦直であるが警備隊は吉林で多籠りの用意を整へ亦直であるが警備隊は吉林

客激增

秋)

ルが二軒生れたのであるこう を突破するにいたつた、今現 を突破するにいたつた、今現 をで変した料率、カフェー、飲食店 を突破するにいたつた、今現

(8

では では では では でする でする でする でする でする と でする でする と でする と でする と でする と の あらゆる の あらゆる

道治下二年目

爾廟定

へ満人女郎最)が三軒、飯店が十一軒、煙銀(阿片喫煙所) か一戸、それに饗局と解する 公許の賭博場が八軒わざわざ な拉例から出張し鶫の目鷹の

歌し昔日は銀貨でなければ信 等が王道大満洲國の帝政を謳 蒙古路の奥莎黄色五色族のつ だ、かくて製古唯一の道しるドライヴウェイとなりつるありこの道路は無二のドライヴウェイとなりつるあ た、かくて蒙古唯一の道しる りと建てられつゝある 総人も 自ら一直線の道路が拓けたの は、かくて蒙古唯一の道しる の燈台とも言ふべき絶好の 識たる電信柱が海拉爾から

わたしのある話は

子のもつ動力とは、登然形の編書を始めた。 たから……と

まだ、何にも知らな な、ボーイさんが配 んな仕事だか」

わねえー

作すぎる、そして、あまりに無 感臓すぎる――少くとも、傷勢な に難へる彼の驚良が、傷つき身で ち、背はの身際に使れかかる様 と、ぐつと馳蹇の調子を籠め、 にベンチに腰を下ろした。 彼女の仕草は、あまりに無造 あた。そのはで 「おは」 で働く類はないの」 だけど、そんなもん 、少し自然心を傷つん、て、僕には…」 それあ樂なもんよ ボーイさんつて

邦文 タイピスト養成

管沼タイプライター 管沼タイプライター 発質元 笹屋 商會 支 店 新京永樂町一ノ九

「ありがたう。 でだつて、おんたは、今につていいのよ。さらな ころがないんでせら しかし

刷印 三丁里大 電話五九二三番

前易宿泊所然为東西馬斯士八

古

村岡吳服

派 遣 看護婦、附添屋、 地川派 遣 帰 地川派 遣 帰 一本東京日日新聞助産事業場託 一大東京日日新聞助産事業場託 一大東京日日新聞助産事業場託 一大東京日日新聞助産事業場託 一大東京日日新聞助産事業場託 一大東京日日新聞助産事業場託 一大東京日日新聞助産事業場託

治療受付 小內 兒 科科 杏林堂醫院 島 電話二五二〇番 信

秋流行新柄帶側とセル 豐富着荷陳列 "店

出張所

蘇

也

变

店

撫 順

央 大 街 四 -

E Ξ

電

0

本

天

字

治 長

町三

番 一二番 九五地

電

新京日日新聞社 新京日日新聞社 新京日日新聞社 新京日日新聞社 東海田三月4-11日日日 東海田三月4-11日日日 降客かあると云はれて居る の往来も激増して居るので 最近は一日約千二三百人の乗

2?

都

理事各地へ出發 たわね、さらでせら 「まあ、そんなもんです。東京

こつちにやつて 楽たんで

が、いやに優ない

るのが、少し焦立たとは、同時にこの女とは、同時にこの女

禁

語の自

若殿が劍と戀のルンベン物

0

1川右太衛門

「お母ちゃん

關本人夫 關本人夫 關本人夫 關本人夫 開本人夫 開本人夫 開本人夫 開本人夫 開本人夫 開本人夫 開本人夫 開本人夫 開本人夫

演助

三 太郎 謝田獨特ナンセンス軍事喜

朝日通り電話

にかった。 により供がやあないぞ。 にかった。

男女員多數剛一報次第 東二條通り機南渡る左 東二條通り機南渡る左

小軍大 大學人大警 職員軍 大學 大學 新 大響

征

ある

んま

新京キネマ

音座

丰

ゥ

男女員多數御一報次第多上

本 豫

科

H

既設電話月賦販賣電話 賣買金融 願書締切

切日九月二十八日 電話1011七次 本間授業 皇中後五時中 を間授業 皇中後五時中 を間授業 皇中後五時中 を間授業 皇中後五時中 新京公學校内 第11111七名

茶~茶道具。

みどり茶園へ

新京實業補**習學校** 内梁 二 一〇 == =-番 容秘線 申上候 株式投資研

書等等準備致居候間御希望次第御贈呈

ッ

會社內

正午より午後三時まで **奉天錢鈔取引員** 

銀號證 部

新京老松町

二〇八五番地

談談資數むトしな來場ら氣なと

工學 湯院

◇◇◇◇ → 場十五被三 達得行 履行 神日一行度行 指回一一 636 

会 吉斯町吉野州內衛京支部 東京大連連記研究 東京大連連記研究 ロニ番の 三番の 三番へ 八 大四日 が開

銀界のチピ母ランテナーと リッポWリム主演 加の王者アーノルド カールみを勝映 満述、アンク博士原案 関連ブーンが推賞した美 チャップリンが推賞した美 チャップリンが推賞した美 シースケートにボップ競 走にスケートにボップ競 走にスケートにボップ競 また、スポートにボップ競 を サー級 のスポートにボップ競 を サー級 のスポートにボップ競

E. 27 六五. 日日

H 郎春田武 子美內坪 淳 井新

絕作品!!! 演

誤陷候若最不滿

(=)

### 譲渡價格は遂に 億七千萬で妥協 **廣田外相の熱心な斡旋により**

近く正式會議開催

で青木警務課長以下各課長、 を青木警務課長以下各課長、 を青木警務課長以下各課長、 を青木警務課長以下各課長、

らのことだ、兎に角旅

とだ、兎に角旅順にとだ、兎に角旅順に

0

る流失木材は吉林省域のみで【吉林國通】今夏大増水によ

まし への歩み、心强 への歩み、心强

機するが退職手官は即将支 形成立後六ヶ月 ロイ部所

を引給

ソ門何にて之

一貫徹 たることにおし

その日く

▲上海日

**天**三八八〇

拂ふこと

敗軍の將

は

兵を語

らずさ

歸連した大塲局長は語る

と「妥協が成立した、依つて廣田外相は滿洲國代表大橋忠一氏の急遽來朝を促したので大橋氏は旣に廿二日午後十 田外相は斡旋に乗出し最近廣田外相の仲介により日滿ソ三國間の非公式折衝の結果ソ聯側も灑步の態度を示し唐田 外相提示の最後案の譲渡價格一億五千萬圓とソ聯側の最終案一億九千萬圓の中間を採り一億七千萬圓で譲渡するこ 《東京國通》去る八月十三日次裂に陷つた北鐵讓渡交渉は之を東北大局の見地より打開せしめねばなられと爾來騰 急遽上京したが蘇よ北鐵交渉露滿會議は廣田外相斡旋の下に近く東京に於て開會、正式决定すること

# 讓渡交涉急遽再開

聯邦の新妥協案提出で

に受諾方を勸設する事に決意 で受諾方を勸設する事に決意 で 開し正式決定する事になつたの上直ちにソ聯側と交渉を再の上直ちにソ聯側と交渉を再

日

H

**高楽一億四千萬圓ソ聯従薬** ・職機價格は北線及ひ附帶

交渉成立ご

>

もに

日滿リの懸案急速に解决か

平和工

作漸次進捗

憲兵隊司

可令官

警務部長兼任は反對

要地敷ケ所に邊境小委員會要地敷ケ所に邊境小委員會を常設し満洲里ボグ

**、譲渡に闘する條約又は取** 同時にその所有額は補刑國

分は即時支拂ひ残りの部は 一を現金で三分の二は物質 一を現金で三分の二は物質

軍事委員を加へる 政府の代表で組織しこれに 政府の代表で組織しこれに

場合原則的には當該地方の関境地方に紛爭生じたる

るものと見られて居る ものと見られて居る

を闘り困難の際ヘルピンに邊境委員會で平和的の解決

六ヶ月以内に全部退職し退、ソ聯從栗員は交渉成立後

るので北籔交渉も十一月上旬的に異議なき旨を表明して居

る模様である、ソ聯側も原 関境委員會設置の件を提議

一月中旬發令の

軍定期進級豫想

員を任命して三ヶ月以内に員を任命して三ヶ月以内に開闢政府は引継ぎ委

ソ聯政府が責任を負ふこと 生じたる第三者への債務にも 對する北鐵一切の債務にも 億七千萬圓で成立し右支拂方北線從栗員退職手當を含み一北線從栗員退職手當を含み一

國債を募集か

買收支拂資金調達

のため

滿洲國、

日本内地で

現地の事態が罹想外に紛糾

有權を滿洲國に譲渡すると「千七百萬國の支拂をソ聯側にれてゐるのは次の如くである」 [[格一億七千萬國にて蔵立すれてゐるのは次の如くである] 「根本の一億七千萬國にて蔵立す法に就ては大体諒解の遂げら 【東京國通】北鐵交渉が譲渡

満洲國入四川省壓政で

果するのではないかとも觀ら

滿洲國觀察

時人港の扶桑丸で來連、兎角 管代表多數に迎へられ今朝八 管代表多數に迎へられ今朝八 出理へた記者圏に取りまかれい警戒の中を上陸自動車を連 い警戒の中を上陸自動車を連のひ語流布される折柄物々し 事務局の文官制に騙しては 理料高浦日マール 番八二四五監督 ハニョゴ 五千本を下らずと云はれてる たが、日滿木材業者に於て漂 流木材蒐集委員を組織奔走の 結果、漸く原木四千本枕木宍 百本の蒐集成り吉林江岸東大

ないから希望を懐いて善處 した官吏が決定した譚でも した官吏が決定した譚でも と話が念戯に觸れるとスモークスクリーンを張つて巧みにクスクリーンを張つて巧みに大場局長を躓んで直ちに課長を変しき脳部會議を開き東京の空気及ひ經過の設明現地狀の後の對策が練られる模様である 損失は大部分回收される譯でた、之により吉林木材業者の

は即時支拂ひ残り半額は三 かの一を現金で支拂の両半額 するが此現金支拂の両半額 で支持な事と

營口 の石油戦 聯石油

【管ロ國通】登口に於ける石油販賣職線はソ聯に對抗してアジア石油、美浮石油が共同職線を張り來つたが此程二社協定して値下げを斷行したゝめソ聯石油は凋落し、同代理店德和永も遂に經營困難となり閉店整理に膏手した

得田節蔵氏 

十五日午前九時五十分酸南十五日午前九時五十分酸南

產

部

商

電話三八七八番

● 大連特產 一大連特產

希望者は履歴書携帶本人來談あれり堅實なる日本人の方二名り堅實なる日本人の方二名

新京館

新京日日 安大路四一

電話五九八八番

作 乾 氏 (江防艦隊司令問)以下十名同上

板神日米為替 

▲中原順平氏(名古屋市軍隊 村中後三時二十八名二十四 日午後三時二十五分着哈市 から同日午後四時三十分優 大連へ 大連へ 大連へ

大連煙合向

日本価通り

一流場所

至急申込下サイ

日本橋通り七四

電話五四四 二

店

舖

6

度

在

版 人 會

來

忠五片四分一

またしても新薫樹立の全ては どうかと思ぶね とうかと思ぶね 心强くもまた涙ぐとに、目覺しい復興 ▲上海倫敦向

の流失木材

大部分の 回收成る

> の奮戰空し、今後一層の健闘日米對抗競技展開、わが選手 派が躍起運動、お氣の毒だが非常任理事國落選に南京歐米

本高向

司東東滿滿大滿周寨鴻溝大滿正同朝二一特甲滿 亞亞洲洲連蒙水天洲蒙迪洲隆 鮮回回別雙洲 株公 煙土與土郊土土製製毛五取銀 銀四四五五體式債 「草木業地外地地麻麻險品引行新行分分分份國 土

現物

酒會場日 鳥取野市一丁目三

金一圓也(紫海神多な) 西公園海軍記念碑前 に必了網川店有無利連銀下の難該合ひ下さい。

來る九月三十日正午より

取縣 人班會開

秋 (滿鐵特作映畵「風光百」主題曲) 國歌行進曲 1 F 東海林太郎 大 傑 1100

來月中 印は 旬頃と なる

旋で東京に於て正式に開催 が双方共至急 れる筈である、

信 正式調品

大日大数大吳大擴大 向 青 工 須 監 局 廠 賀 者を挙げると共に各署内では

【東京観通】北蝦交渉は受協 成立の形勢となつたが其の眞 トー側は交渉停頓後の非公式 トー側は交渉停頓後の非公式 の中間程度で安協の色見え、廣 の中間程度で安協の色見え、廣

本中特に進級 中特に進級 中特に進級 中特に進級 中特に進級 中特に進級 中特に進級 中特に進級 中特 後藤 章 を表現を長 本林省三月 中特 後藤 章

· 時院 一 長 級

嗣品、久之

と思はれるもの左の如くであり、国の審議を以て十一月十五日 国の審議を以て十一月十五日 このを見る筈であるが進級

別個に一致幽結し各署で代表 の下級警官即ち巡査は幹部と の下級警官即ち巡査は幹部と 務部長の憲兵隊司令官兼任に 且つ委員を在議機構改革問題にからみ警 更に各係で

新京署からも巡査大會に出席 で鑑査細胞を組織して巡査細胞を組織して出たののでは、 電幅のため二十五 を送るがこれが代 を送るがこれが代

派遣することにしたが代表者とに集合し三時間に亘つて協 **することになつた、なほ同會** 行は同日午後四時三十分酸

海外經濟

贈

献

新京市况

田

候間本紙ヲ以テ御案內申上候モ御尊名洩レモ難計 り候間萬障御繰合セ多詣被下度候本月二十七日へ當院大祭ニ付キ護摩祈禱及鳴動式施行仕 新京永樂町三丁目

版和運動に邁進しつゝある滿 と整へ、更新の意氣に燃えて と整へ、更新の意氣に燃えて 以下である。 と整へ、更新の意気に燃えて は下間係各代表を網羅して陣容 の

日滿

聯合美術展

あす第一回委員

東京近郊の

十六日紀井前委員の残務整理 の完了を待ち愈々二十七日を 以て、改組第一回委員會に於ては阪谷 結城兩事任委員のみを以てし 同時に事任委員のみを以てし では解決し兼ねてゐる事項に 一堂に會せざる星野、竹内、 間しては配任額谷也以來未だ 一堂に會せざる星野、竹内、 を別、宮脇、小山、中田、和 皆川、宮脇、小山、中田、和 皆川、宮脇、小山、中田、和 とりは、中央事務局側

関の日滿兩國電家の作品が陳 主催の帝制記念第二回日滿聯 中主催の帝制記念第二回日滿聯 日本年代の帝制記念第二回日滿聯 日本年代の帝制記念第二回日滿聯

大場野は兩會場共通で三十経 れること」なつてゐる、なほれること」なつてゐる、なほ

中最も眺望よき芝生に陣取り中最も眺望よき芝生に陣取りながの模擬店、ピール、サイダー、酒も豐富にカフェー組合から應提の女給連載十名は接待に當り、氣遣はれた天気を翻らす勢ひ、蓄音機に電氣臓を弱らす勢ひ、蓄音機に電氣臓を整けたシュードの歌に配器を附したシュードの歌に配路を強し日没頃散會した

本節子、陽カヅ、柴原まち坂井トミ、佐々木榮子、笹坂井トミ、佐々木榮子、笹坂井トミ、佐々木榮子、笹坂井トミ、佐々木榮子、笹坂井トミ、佐々木榮子、笹坂井トミ、佐々木榮子、笹坂井トミ、佐々木様子、野木良子、北村

京霹構內專

専用線、第一番線々

倉庫を新築

空の麗人・馬

淵嬢が

滿洲訪

問飛行

傷病兵五十六名

あす朝内

來年六月の豫定

皇軍將

士を慰問のため=

移所で各種公私文書を打つて あるが既に半敗は就職口も決 序五十晋)

村子

上のが山

初子、

野田敏子、

地鎭祭を行つた當日は新京地なり、二十四日佳節を期して

國際

新樂許可願を滿鐵本社に提出 で、東側倉庫を北側に移轉し で、東側倉庫を北側に移轉し トル〇五の倉庫並ひに地下 第三百四十五平方メートルを 第三百四十五平方メートルを

一度数 無龍王に伴はれ 日 無龍王に伴はれ 日 無龍子に伴はれ 日 武器兵器の

満洲國協和會 七時黑龍王以下の禁衛車一堂 出渡威虎嶺に向つた、漕購黄 五千名の即懸集合黄色の敷迎した 放を押し立てて之を敷迎した 完全に開かるるに至つた、漕購黄 して四海は南三日中に部下頭 目をまとめ敷日中に下山する て事務報告をなすと共に地方 を提議する事になつてゐる、 之を要するに改組第一回委員 會は新委員の持つ今後の協和 民衆運動に對する抱負が明ら かにされるものとして関係各 かにされるものとして関係各

日満警備機關では満洲國特別れが警備につき二十五日午前れが警備につき二十五日午前れ時から新京憲兵隊本部で代

で双方對立

| 一般化したので市雷 | 開始の形勢となつた | 開始の形勢となつた | 開始の形勢となつた

6十月次行する

皇

帝に獻上

0

日本畵を携

警備打合せ

森州國通信社の肝煎り總務區 関助で二十三日午後大同公園 を新聞通信關係者、大使館、關 全新聞通信關係者、大使館、關 全新聞通信關係者、大使館、關 を 新聞通信關係者、大使館、關 を 新聞通信關係者、大使館、關 を 新聞通信關係者、大使館、關 を 新聞通信關係者、大使館、關 情報新聞通信社 合同野遊會

新京實業補習學校邦文タイプ ライタ科第十三回修了生十三 了式を擧げた今期修了生はい で修業し同日修 質補タイ 修了式舉行 (東京國通)かねて溝洲國に 現の第一人者馬淵譲は十月決行すること」なり二十四日航 ですること」なり二十四日航 を路觀察に向ふ事となつた、 これが實現の瞻は我女流飛行 を必ずである

東京市電

東京國通)東京市電争議は

満洲國皇帝に獻上すべき日本 書の逸品廿一點を携へて遙々 変氏は小室、荒木、前田三書 彦氏は小室、荒木、前田三書 一直道、廿三日午後七時州分 一方列車で來京したが、課頭左 の如く語る 今回満洲國皇帝に獻上の光 一等に添した日本書廿一點は 廿五日より入日間商楽學校 並に城科素發合に於て他の 三百五十點と共に一般の觀

ふ幕開け

新築地鎮祭 田井寫眞館の - 断と共に一般の観を上断と共に一般の観

城内
と附屬地の
兩
會場
で

213

三郎體 무

0

蓄音機レ

コード

の御用は

新京東一條通り

日信洋行

十月新譜入荷

字級で芳紀二十四字 を終つた、なほ新婦小春瓣は を終つた、なほ新婦小春瓣は

士博學医 新》

幸福を一同杯を擧げて記すなりを紹介、今後とも宜しなりを紹介、今後とも宜しなりを紹介、今後とも宜し 氏起つて

正木美術院長來京 關東軍御用寫眞館日并謙次氏殆ど奉仕的に開業中であつた は今回朝日通り本社南側三角

の典を擧げ、同五時より扇芳午後三時新京神社に於て華燭 護との婚約整ひ、朝鮮總督府本縣人徳永佐吉氏の四女小春 グリルに知友關係を招待。 氏夫妻の媒酌により二十四日 派遣員事務所事務官堂本貞一

結婚披露宴

易

十五名、同日午後四時列車でハルピンから傷病兵三 のため内地へ翻還する 本本社編輯長 島 高 日

是非御入湯をす

京西五馬

路

平和溫

話話四七九四番



名の参列者あり、式後正午か保長稻葉賢一氏を始め四十餘 斷

十四日ヨリ

愈

タ

開

文化設備……

廣ろびろご

きつご御氣に召す

ウ

一日報をより苦しみより逃れ 一日報をより苦しみより逃れ 一日報をより苦しみより逃れ 一日報をより苦しみより逃れ 一日報をより苦しみより逃れ 一日報をより苦しみより逃れ 一日報をより苦しみより逃れ 一日報をより逃れ 一日報をより逃れ 一日報をより逃れ 一日報をより逃れ 一日報をより逃れ をれげ最に有すを

大學リーグ戦

九 自一千 四 部

(1) 曜 水

満洲スポ

ツ史

大壓卷を展

待望の日米陸上競技開

か

米選手新京

一高野惣太郎(日)一高野惣太郎(日)一高野惣太郎(日)一七〇(米三、日六)

○砂二、世界新記録)二、 「評」バーソンススタート 好くメトカーフ鏡(、百米 にてはメトカーフ鏡(、百米 にてはメトカーフ。バーランスを三米、西を一米、西 ドす、バーソンススタート と遂に世界記録十秒二で優 トカーフは登々好調を示 トカーフは登々好調を示 トカーフは登へ好調を示 トカーフは登へ好調を示 トカーフは登へ好調を示 とが、バーソンス十米、西 勝す、バーソンス十米、西

の日本人には如何とないが巨体からあやないが巨体からあやは殆んど見るべきもる、米國二選手のフ

來利益を無視して

10

いれ、要ない。 一部 とととなって、スタートの会別では、大の方がに関係している。 一部 との表がに関係した、 大の技がに関係した。 といれ、要ないが、一部 といれ、 大の方が、 一部 という。 これをいう。 これをいうい。 これをいうい。 これをいうい。 これをいうい。 これをいうい。 これをいう。 これをいいる。 これをいう。 これをいう。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。 これをいる。

第二日の

大〇で伊藤落ち、恵 と、高野二回目、高野を高野、トムソンコ回目、高野三回五トムソンコの目、高野三面目にあるの米一〇を越

得點米九〇、日五五

着列車で新 手一行は二 大連に於け

新京を訪問するを 他場したアメリカ選 一十五日午後七時半 一十五日年後七時半

大小園道 日米對抗競技は 住宅の支出三日午後三時人 自米のに開始されたが各部技 の成績は左の如くである へ八百米 1ホーンボステル (一分五八秒大)2カニン がム(一分五八秒大)2カニン がム(一分五八秒大)3天 が出したが各部技 の成績は左の如くである ・評量スタートするや天近 ・計画スタートするや天近 ・ ボステル線をする。ま ・ ボステル線で表面である。ま ・ ボール・ ボステル。 ・ ボステルを ・ ボストルを ・ ボストル

「大連國通」日来對抗健上 一、二の差三米、得 四九秒五、二今井東二(日) 四九秒五、二今井東二(日) 四九秒五、二今井東二(日) 四九秒五、二の差三米、得 1 評」一、二の差三米、得 1 部米五、日四、今井フライ 2 が着く一百米に於ては今 2 があまで今十少とれた追ひ 1 にし三百米 2 があまでインシを 2 がある。 2 がある。 2 がある。 2 がある。 2 がある。 3 がある。 3 がある。 4 がある

るうちグリーン流れ込んで を開す差三米、今井と西は 発力を同着 一四米一三、(日本新記録) 一四米一三、(日本新記録) 一四米一三、(日本新記録) 一四米一三、(日本新記録) 一四米一三、(日本新記録) 一本であるが準備動 に一者の必要が表別でするこれによがあるが単備動 にするこれによがあるが単備動

に抜き約三米の差に切り、米津、中村の大田で六七八至目の上げして居たがグッド、米津、中村の大田で六七八至日の大田で大田でが

所

ープエバー(五〇 一プエバー(五〇 一学用芳夫(四 (米八日一)

見音その後には行人かが殺されて ま

こりん、まる様で、性格が作ら

場び隣―をしてあわた

ったんです、どうか側は原を目ひたか、気もつかずにやって残ちる

すって、何か明ひ嫁が聞こえまし

の他職の様を思ひ出すと、原然と とは元の家族に取った。千吉はい くらか論に樹えがあった、郷屋も かし、明び離はそれ贈り、あ は一元の家族に取った。千吉はい は一元の家族に取った。 の称からよ

今その横町から出て火たばかりで 日恵、お日本ひでせう、私に

木器荷白

田

商店

おちついた神か数

家族的で高尚な

窄

がらんしと思き出した。 をしたはである。今まで飼かな を関を強つて、就機権明へ出よ

まづいたのは人の死体であった。

(B

予ないのはず立

の力属りの陰極である。 「最高」 したの 健の心に浮かんのだは、 (験)

何も製器を持つてゐないのに気がしかし彼はすぐに千古の風体と、

抵抗も無駄なはど相手の力量は口

忽ち捕出はかけられた。 下背の

と、思ふと、何よの千音も報石

石 千官も相手が摘みい役人である ことを知ると。これは帰近りては

何はから迷つて死たか愛が一匹

(土城) 行友李風贻作

15

また思い直しては引返した。さうなはなれることが出来なかつた。 していつまでも脈に沿って仕つた それでも千古は思ひ切つて其際 もうから人の配けて來る足管が聞

たり物に買いた。一歩ばかり行くと、ばつ 上古はぎよッとしたが、 樹はず その後から飛びかりつていき 「時で!」 「何をするんだ!」

を過ぎてゐた京みの人の往來の陋

棚手は物々しくいった、同時に「御用だ、神妙にいたせ」「 りながら怒鳴つた ■五黄の人 喜ひは一瞬にて 去る後より暗雲に襲はれん 去の後まり暗雲に襲はれん ●六白の人 小事たりとも進

●七赤の人 進んで損する所 あり退て得る所なき不安日 度と癸と丑が吉 度と癸と丑が吉 ●九紫の人 堅實なる努力は 大第に事業の設選を見る日 東と壬と子が吉

く、数もいつかびつたりと閉ちら

からいひながら気がつくと、つ

ことへ来たばかりだ! 私は今

びりりと手に痺れを感じたっ

千古はから思ひながら耐く解を

(もう今夜は迷へまい、 師匠は

清雄浦沙 羅清津 満州文 大学な



八点

專屬荷扱所 李屬荷扱所 李屬荷扱所 李惠大班 安店餐館四〇人九灣 泰天出場所電館四〇人九灣 泰天出場所電館四〇人九灣

一分位しか過ぎてみなかつた。

辛と癸と丑が吉

■三暑の人 辛抱は僅かの間

の人 目上の同情を失

て足元に氣を附けざれば凶二黒の人 他面に心を移し

断然 親切叮

員

宿

四十人様近での御宴る をは確接に存 既京大和通四七 食为學 電ニ六六一支 入船町ラー七

一円最需要の秋

残らずに贈呈の為め全満洲帝國御一人 も

嚴定短期間を限り



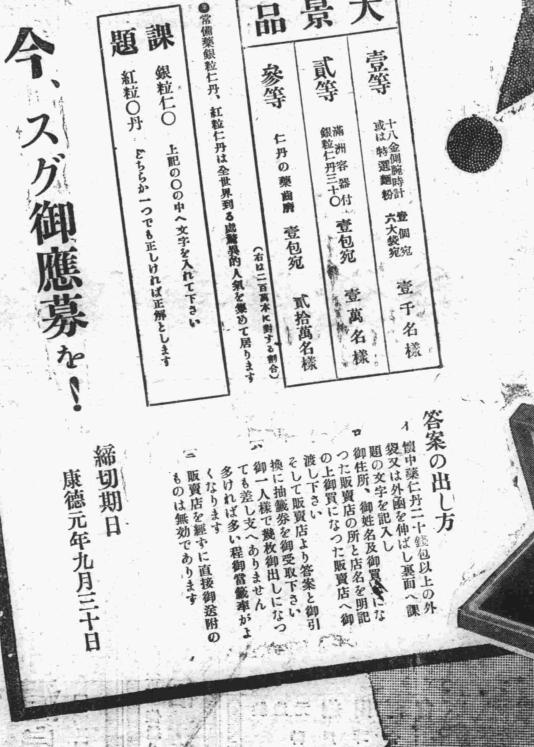
37 2010 ボケットに、袂に、ハンドバックに萬人向きの必携品!

是非必要!

ローズ仁丹は 元氣恢復の增健劑として 胃腸の保健、悪疫の豫防 銀粒で

社會藥賣本日

阪大 舖本丹仁藥備常



景

貳等

壹等

或は特選麵粉

品

參等

仁丹の栗幽幽

課

銀粒仁〇

題

紅粒〇丹

とい、而して從葉員の積極分を受け沿線に逃避するものらるが彼等は失そうの秘密指令

交部次長に廿二日午後十時五気運張り之が爲め委員大橋の

(東京殿通)ロシャが過去七十有餘年に亘り一貫した極東 政策上唯一の足場だつた北鐵 が今回萬邦協和を目指す暦田 外相の斡旋により滿洲國に歸

大であるばかりでなく、ソ聯 でれが歴史的意義に於て軍且 になったことは單に

は最近國際聯盟に加入しソ佛 に最近國際聯盟に加入しソ佛 に最近國際聯盟に加入しソ佛 か 政策を採るに至った結果、 近來 極度に悪化し 為めに爆發 酷に達せんとしつゝあつた日 酷に達せんとしつゝあつた日 で興・中國に對しても一大反 で 東への急旋回を爲すべく、從つて降邦中國に對しても一大反

温保制實施と決した北鮮管理 して大々的な發展を目指して 過設假營業を開始した顧家線 の貨物を吸收する為同線にも 温保制實施を希望し、總局側 と折衝を開始したが、北鮮管理

午前八時州分ハルビン酸新京り急遽観察を打切り、十五日り急遽観察を打切り、十五日

**ど情勢は必然的に一變せざる** とする極東政策否全世界の外

全満巡査大會出席の

順に大塊警務局長を訪問し、 端長は今側日中に打連れて旅 協子各警察署長及ひ今井消防

光殿來北滿方面視察の途にあ神吉政務司長歸任

五氏昨日出發

同僚百五十名の聲援に送られ

**する**と共に局長より何分の指 最早簡單なる尉撫によつては

示を仰く

機構改革問

題に關し

かある、かくて

轉換をしたと云ふ政治的意義 果方政策が茲に根幹的の方向

の太平洋政策にも本質的機革する所多く、延ては英米列程

道の實施と相前後して實現す

滿洲

令

國立賽馬塲技佐

港の活躍は各方面より

馬政局馬政官馬政局馬政官

嘉恒一輔

政府の北鐵の放棄により其の

ばかりでなく、

まる八月十三日決裂狀態に を孕みつゝ今日に至つた北州 を孕みつゝ今日に至つた北州 をみある。 なみの、今日に至った北州 をみある。 をみるの、今日に至った北州 をみるの、今日に至った北州 をみるの、今日に至った北州 をからは最近形勢俄かに好轉

ソの國交關係急旋

混保制實施で

期待され

る北鮮三港

0

つた外交部政務



北鐵交渉愈よ ゴー

頁八共刊夕紙本

明明人 水越內之介

### 吉川商品 申板

膨脹の

途

を辿る

滿洲國經濟工作の進展で

一億三千萬圓台

朝鮮銀

行

券發

行高

年頃、各月末現在) のち左表の如くである(単位

れば誠に結構なことである

同時に満ソ兩國々境諸紛保に晴やかな氣分が漲りまた一掃されやがて三國の間に

行券の競行高は昨年來急激に対り朝朝の建設工作の進展、滋 著なる增發傾向を示すに至っ 行券の發行高は昨年來急激に 行券の發行高は昨年來急激に が職場等に因り朝朝銀

を常態とした、

### 論。見透しつき **順根北鐵問題解決に乘出す**

# 特直下妥協の氣運漲り ソの交渉再開動機

れば事ら國内の充實に努力することが甘る。

萬圓蓬に上り此方面への融資り期より漸増し一億二、三千り期より漸増し一億二、三千

日本内地より 日本内地より

たる北鐵譲渡交渉が成立す

も同國の最重要外交問るであらう、満洲國と これを契機に漸次解決さ

本としても他の國際關係

であら

はその譲渡價格一

つても過言ではあるまいれば、日滿ツ間の平和工作は

五分東京驛着列

に於て社債を

復活は喜ば

部次長は廿五日午後四時五十【東京國通】大橋滿洲國外交

部隊巡視の爲關東軍西尾豪謀長語る

北鮮鐵道

愈々新穀山

四廻り期より實施

成果期待さる

れるや否や目

東京着

大橋外交部次長

巡視の部

長一行十六名は廿五日午前十一時三十分來齊龍江飯店に入ったが、北鐵交渉成立の第一報を齎せば左の如く語る何しろ旅行中の事とで未だ公報に接して居ないから半信半疑だ、この成立が事實ならば非常に結構なことで

思はれるが兎に角今のと

するに至つたのは政策と関係とない、後藤内相を中心とする者に對

第一に色々な悶着がなくなりサッパリする、第二に北 鉄治線に頻渡した被害は大 株に於て根絶されるものと

ふ事に

ふ事に最も関心を有するもで方法により支拂ふかと云 七千萬圓を満洲쩷が如何な

ば左の如くである

聯盟加

人と東歐ロカルノ

新京遼東京に向つた、東京に後十時何れも相前後して急遽野財政部總務司長は廿三日午 けるものと観測されて居る

延政策をとつてゐたが、最北鐵交渉に對し徹頭徹尾引 出鐵交渉に對し徹頭徹尾引 會議が懸案となつてゐたソ

決氣運に

北鐵管理局內大動搖

失踪の秘密指令で逃亡者續出

十七、八日頃には

滿洲國支拂 万法が問題 遠藤總務廳長談 しい限り

外人筋の意向 は左の如き意向を洩して居る は左の如き意向を洩して居る (新京國通)北銭譲渡交渉 復活につき遠摩總務應長は 無だ大橋次長から何等の通知 に接して居ないので詳しくは 判らないが、北銭譲渡交渉が 再開されるに至つた事は、滿 可問題に就ては先づ北銭変渉が を來世界各國に於ても日ソ間 が纏らなければ爾國の平和維 が纏らなければ爾國の平和維

のもで此の交渉が順調に進んた程北鐵交渉は重大意義ある

列强の太平洋政策に 本質的な變革

理局、朝鮮總督府、國際運道の混保制實施は其後北鮮 間で種々折衝の結果、 明より取敢へずと考慮して感々來

を吸收して歐洲中を吸收して歐洲中

其他の関係上十二 と観られてゐる 月一日より 内 高事となり の特産輸送に 対抗病の大豆 れてゐる、 れてゐる、 れてゐる、 和二級條 為事となり 為二級條 為一級條 為一級條 為一級條 為一級條 為一級條

國立賽馬場事務官 趙允捷

實業部理事官 椎名悅三郎 給七級俸(各通) 哈爾濱國立賽馬場事務官 觀主賽馬場事務官 觀主賽馬場事務官 實業部事務官 實業部事務官索 越暴業部總務司勤務を命ず唱六級係

床次、後藤三氏

政府が希望の新黨樹立は疑問

務、山口、河野、戸出の三巡査 大會の結果遠藤部長、池田特になったので新京署では委員

||政界||

【大連國通】在滿機構改革問

あかは一層注号 かける方針及び

邦人有志東上

関東應管下五千名の巡査は初 に絶對的排撃の蜂火を撃けた を代表し見送の同僚に對し『 警察部長の憲兵隊司令官兼任 の出發に際し遠藤部長は五氏

AND M

六

**初黨樹立運動** 

の際に上り各方
三、後藤内相を産逃役として
政友會内の床次系のみがその
なり知るに至つた
、字垣朝鮮總督を中心に民
新黨に関
でなる態度をと
こ、字垣朝鮮總督を中心に民
新黨には現在の所民政黨はあ
の際に上り各方
三、後藤内相を産逃役として
政友會内の床次系のみがその
に時議會召集の
て諸種に分かれてゐるが
した新黨には現在の所民政黨はあ
な系を評合せんとするもの
これを行はんとすれば結局
の際に上り各方
三、後藤内相を産逃役として
政友會内の床次系のみがその 果をあげ得ないと見る向が多年下に集るのみで、鞭掴の数を下に集るのみで、鞭掴の数がそのかで、鞭掴の数がそのかがそのはない。 し乍ら床次遞相を中心とする

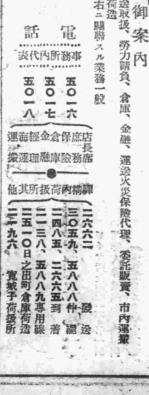
司過

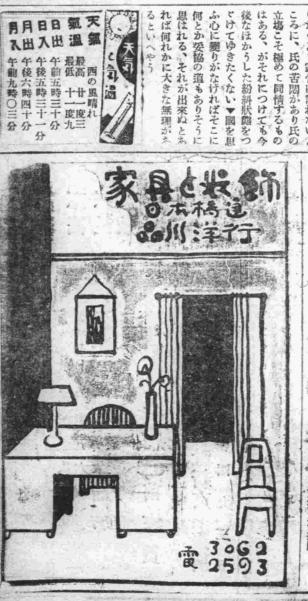
国立賽馬堪技佐 選立賽馬堪技佐 率天國立賽馬場事務官 國立賽馬場事務官 川井田 徹 

宗 語らずさ」といつてゐる▼無 りたくとも露骨に語れないと ころに、氏の苦悶があり氏の 立場こそ傷めて同情するもの 大場警務局長「敗軍の將兵を」まで反對だと依然警官側の態 先方の出方一つである▼憲兵 も露骨に語れないと

一學に解決すべく双方積極的 高い安いなどと文句なく、一 高い安いなどと文句なく、一 高い安いなどと文句なく、一 験度か好轉逆轉を 験度が奏効して、 対応に北鏡交渉も 終へば今更ら

















自宅 第5三丁目玉 次七四八十二丁目玉 太

n 第第第 經營

**は、日本のでは** 

13

手が

軍の参加者は左の如ぐである

旅館にたゞ

内地の旅客サ

ビスを視察

歸京した高橋氏の土産話

長、池田青訓係主任 長、池田青訓係主任

人選を終り第一回智學生とし滿人刑務官の日本智學は此程

城縣看守所馮雲沛、黑龍江第

率天高等檢察廳王長庚、鳳

長等渡日

E-001

1011-1

の製作にからる一〇〇キロをなし、とこに日本電気會

## 新宗放送局の百キロ計畵 組立を終る

騰落品目(調查品 前月に比し騰落

北溝訪問の新京通過管口へ新京通過管口へ

軍部に報告筒を握下、

一路营

豫定 通り 日

無電二百三十坪の増 窓中線もこの程懸架を終つた 十一月一日から開始される模 様であるが目下東洋では南京 にれが完成の聴はまさに東洋 を行ふが、刑務官留學生の研究の結果と相俟つて、滿洲國 ・ が懸げられてゐる

||一元子||にはたせ得られ 期待されてゐる。因に日本放

の洋上に元氣な航海を續けて 図を離れて既に二ヶ月間南海 組 海洋少年團 海洋少年團の和爾丸はシ タビア着

日本人の歡迎を受け、 豫定である

新京の物 なほ騰る 九月中關東廳調 ~

間月に比し五厘騰貴、前年 同月に比し二分二厘騰貴、 昭和五年一月に比し指數一 和六年十一月に比し指數一 三五、九即ち三割五分九厘 騰貴 目三十六種に付算出) の如し トー前 ス〇月 〇を 101~11 10时元 1017-1 九九二五 100~六 九九、三 101.七 トを前ス一年〇月

滿人

八刑務

素質向上

日本留學生を派遣

つて るる

馮奉天監獄

10%~# 九、0 保合四十三種

はた跡も見へず廿四日午後七けた跡も見へず廿四日午後七に雄姿を現はした廿四日夜は港外に假泊し廿五日朝一行は 一定報で上陸、崩印少年團と交元領で上陸、崩印少年團と交 (四分三厘)、毛絲、内地物(三分+厘)、毛絲、内地(四分三厘)、毛絲、内地 (一分三厘)

京上空に雄姿を現し、駐南毎の途につき、午前九時十分新の途につき、午前九時十分新の途につき、午前九時十分新の途につき、午前九時十分新の途につき、午前九時十分新の途につき、午前九時十分新

剣道を講習して警察官の身心 | 首都警察廳では今回その所屬

より質の日本精神を證得しよといなつた、殊に滿人餐官

ことゝなつた、殊に満人警官 回一時間の豫定で綴行される 催されたが以後領週三回、毎

後三時より警察廳講堂にて開其の第一回講習は二十五日午 の鍛練に養すること」なった

劍道講 日滿警

官の

御見舞電 近畿風災

至り二塩へス事電率尉ス 教念ヲ勞シ給フコト率察ノ 世級 見 正災ヲ開ク、痛ク

賀縣、岐阜縣各知事に宛て左大阪、京都、神戸各市長及ひ大阪、京都、神戸各市長及ひ大阪、京都、神戸各市長及ひ

命を奉じ事電慰問するに堪へず弊國皇帝陛下の 如き見舞電を發した

本下落六種、王葱(二割五分)、味噌(一割四分三厘) 麥粉(一割一分一厘)、澤 庵、満洲物(七分七厘)、澤

### 州外各校、青訓生が 聯合の大演習

廿八、九兩日鐵嶺を中心に

校並に青年訓練所生徒千四百余名による聯合大旗習は二十八、十九兩日に亘つて鐵嶺を中心に行はれる。南北に分れた學生軍は二十八日午前十時た學生軍は二十八日午前十時た學生軍は二十八日午前十時あるが、新京の参加學生軍山あるが、新京の参加學生軍山あるが、新京の参加學生軍山 校並に青年訓練所生徒千四百非常時第一線に立つ州外各學

(B

唯

水工

務官を日本に留學せしめ刑

刑務所に就て詳細に實地研究

门门

午後十時愛列車で日本に向

東京、名古屋、大阪の各地の 東京、名古屋、大阪の各地の 東京、名古屋、大阪の各地の 東京、名古屋、大阪の各地の

一行は東京到

法部屬官于敦臨の七氏が廿五帝禛、同第二監獄郡王波、司部二監獄郡王波、司の監獄郡王波、司の監獄郡王波、司の監獄と、北瀬特區第一

ケ年間研究を行ふ筈である、
着後刑務官練習所に入所、一

司法部では本年の第一回留

颱風被害で

なる世一日朝來陽西地方を襲
たる世一日朝來陽西地方を襲
た対し、満洲國皇帝陛下には
なのはか御軫念遊ばされ既報
の如く廿四日附を以て日本
天皇陛下に對し御見舞の御親
電を設せられたが、廿五日更
に關西地方風害罹災民に對し
に開西地方風害罹災民に對し
に関西地方風害罹災民に對し
に関西地方風害罹災民に對し
に関西地方風害罹災民に對し 關西地方罹災民へ

【東京國通】颱風被害の各地 を告げ廿五日の如き一氣に石 五圓七十鍍高となり東京市設 小頸市場では各米各等十キロ 小空では各米各等十キロ

大阪府下を筆 死傷 家屋の被害三十六萬三千戸 十四 午四 五 萬突

滿洲 五萬圓御贈與 皇帝

鏡、二等米二圓五十二鏡、三一キロにつき一等米二圓六十二

部關係その他數卷 結果現場の風災害

新京婦人園体際盟 新京婦人園体際盟 新東方法協議の為 京都・ 一時半から地方事 において委員會を において委員會を において委員會を において委員會を 義 がでは過般の 発行、対している。 では過般の では過般の 捐金を募集 新京婦人團体聯盟

で、協議の質別、軍 長を始め十 は大人券五十銭小供券二十銭 で動資券を登賣し、小供券は で動資券を登賣し、小供券は で動資券を登賣し、小供券は 佐し納益金を護捐金に充つる をで映寫、入場券は各婦人の をで映寫、入場券は各婦人の をで映寫、入場券は各婦人の

五名はヤマトホテ 関陸上選手マギー 選手 昨夕新京到着 監督以下十一条京した米

正

直

な

店

放送金

滿洲國体育大會

日満聯合美術展開

1

本北軍 奉天中學二六七、新京南栗一六七、新京南縣一六七、新京南副五四、遼陽同三〇、奉天同五四、遼陽同三〇、泰天同五四、遼陽同三〇、奉天同五四、遼陽同三三、醫大豫

各中歐指揮官各校配屬將校南軍飯島中佐(南滿工惠)

既報、新京鐵道事務所營業係 であったが、このほど のに旅客サービス振りの視察 がだ行中であったが、このほど のであったが、このほど のであったが、このほど

とは出来ることならこちらでも貸似てもよいと思ふ九でも貸似てもよいと思ふ九がいて豊間の急行列車だけにラヂオと、ラヴドスピーカーの扇方を備へて面白いたラヂオで放送の相間々々にスピーカーで着罪名、時刻などをラボスピーカーで着罪名、時刻などをラボスピーカーで着罪名、時刻などをラボスピー

常に效果のあるものと思つ たが、これはこちらでは既 に試験清みでどうも面白く ないし、九州線でもラギオ の分はいづれ酸止するやう なことをいつてゐた内地の 放館はどこでも至れり、盡 を割れが一つもない、この監職 知の被領業者としても考へ

北軍岡崎大佐(奉

會場

(商業學校講堂)

滿洲醫大 京城大に大勝

▲正田政男氏(吉野町一丁目一番地ノニ)男紋さん二十日出生 本古川ンゲノ氏(中央通り四十一番地)長男重直さん十 九日出生 九日出生 五番地)男荷さん二十日出生 五番地)男荷さん二十日出生 午後一時死亡

水災 映畵で

上げることゝなつてゐるととが新京神社満州國奉納 技町三丁目十六番地に工場を阿彌門弟秦大川氏は市内梅ケ日本刀研究所長正宗傳刀匠本

◆中向中春氏 羽衣町から曜 町四丁目十一番地前田方へ 栗山榮藏氏 露月町から入 部町四丁目一番地へ 本流木又一氏 大和通りから 春日町四丁目三十五番地へ 本が山真一氏 老松町から室 で大路崇智胡同三百九號へ を大路崇智胡同三百九號へ を大路崇智があら室

北関町二丁目四番地四號・池忠男氏 西三條通りか

るが日程左

桐丽

電話用器具機械

話交

換

營

目

御用命は



大の勝 ・、親達―京城大學勝 ・、柔道―諸大勝 ・、柔道―諸大勝 ・、ズスケットボールー四 三對一八で階大の勝 勝 庭球ー四對三で醫大の

た 後九時京城震、奉天に凱旋し お満洲鬢大生一同は廿四日午 一、野球―七對一で京城の 大の勝 大の勝 ラグピー三四對〇で醫

百五十名

過數の近畿地方における暴風 で殆ど全滅の狀態になつた大 阪、神戸、京都各市長宛新京 地方事務所長から廿五日午後 次のやうな見舞電文をうつた 貴市今回の御罹災に對し新 京滿鐵附屬地居住者一同を 代表し不取敢謹んで御見舞 では豫防注射、交通遮断、殺四倍と推定せられ防疫各機關 城子に移すと共に天候回復行の中心地と目さるゝ哈拉 設置されてゐた防疫本部を 躍を續けてゐるが從來農安に 鼠劑の配布等防疫に大童な 實際の猖獗狀况は現

である

地事所長から

水害見舞電

等米二圓四十二銭となるわけ

警保局發表

を爲してゐる お料理講習 國都侵入に萬全の備へ

大學醫科特等關理擔當、 新京家事講習所主催の元九州 ト盛況

岩人鱼 右採用ス市内ニ保證人ヲ要ス 一、配達係內地人又ハ餘人 ただ!

福田商店精米部 電話三七十 监 公 虒 笠

日新京永安街十九番地へ與安路トノ交叉職ンニ移轉セリ當館警察署新競屯警察官吏派出所ヲ昭和九年九月二十四 告示第一〇號

昭和九年九月二十五日 在新京總領事 吉 澤 清 次 郞

用

一、少年事務見智十六、七才前後二名 二名 00 和事 明显行務 卷 5 所

院長肥後弘 電話五七〇九番の部人者通単校ノ西等

內科 小兒科

東亞與業株式會社新京出張所新京特別市新發屯清和街第一〇一號 賃

敷設間場 賃金備取所 ア平 パ ー 卜家

新發屯清和街

貸

新

六十九圓)前家

新京電話工業株式會社

京日本 橋 七 =

新

セサヘ (2)

タナ"リノカタキウチグン、オモヒシレッキハコタモオレタチリヒドイメニアハナシテキマス。ヤイコンウ、オリスカサウキシテキマス。ヤイコンウ、オニノナカ

新京にも

山三八三〇七日

高文壇の變り者小生夢坊氏が 総指揮として、日本でも最も 新らしい、中央一流の新劇男 大臣林銚十郎大將より贈ら 北た日章族と大將より贈ら 北た日章族と大將より贈ら 北た日章族と大將より贈ら 北た日章族と大將自ら『至誠 率公』の四文字を大書した大 態とを持つて駐滿皇軍將兵傷 た日章なとして二十一日陸路入 でも最も で目的として二十三日大連 で目的として二十三日大連 する(寫版橋秋子女史の舞踊) 笑劇神秘なる新舞踊等を演出 壯絕なる即謀劇、明朗なる、爆

田 秋季超特作

唄祭三度笠大河内傳次郎の

作、三上が

新京キネマは二十六七の兩日 は名書鑑賞大衆與行日でプロ は名書鑑賞大衆與行日でプロ がラムは獨逸ゾーカル映畵オ ールトーキー「銀界樅走」本 明最初の大競馬劇、鈴木傅明 配當(復) 四國五〇錢 「單」 一〇圓〇〇錢 「一) 一八圓八〇錢 「一) 春花(騎手丸山) 「一) 春花(騎手丸山) 「一) 春花(

古 後的中の指導 人事百般解决 無定料普通三圓特別五圓 年日午前八時より午後八時 電管等等で日延べ 一十八日まで日延べ

制「明祭三度笠」を上場する 制「明祭三度笠」を上場する 利「明祭三度笠」を上場する

取揃へてあります

御一報次第店員琴上

親切叮嚀迅速

新東各種豐富に

新

築

落

町二丁目太子堂樹

袋女小

第二次競馬

=== 、四五 ニュース(日語)、五〇 經濟市况 ニュース(東京より)、二〇 ニュース(日語) (奉天より) ニュース(日語)

家具建具窓棚

園風呂場

左官大工苦力塗工 其他

運供時

電》三七〇四番

話》三七〇五番

スタット スタッドン

第四 (後) 上面(2) 上面(2) 上面(2) 上面(2) 上面(2) 上面(3) 上面(3)

配當(復)

面捣

京京 合待内 店本學級 一种明神込約 二二二六四軍

造 搬給間 大和洋行便利部 

模樣

因に同映畵は野村芳亭最後の

配當(復)

**途**設修新 日常御住居ニ關スル仕事 ハ何デモ大小ニ拘ラズ迅

速叮嚀ニ御用命ニ應ジマ

屋開設

電話五四九 八番

堅牢 質なる修理ニ安全に

廉價!

が大人の一般では、 「大人」の一点では、 「大人」の一点では、 「大人」のでは、 「して、 電話二二六七

破格ノ御値段ニテ御注

電話長三〇〇 九五 左

△平浪板、洋釘、針金 合名

文三應ジ事務机、

**土建金物商會**蘇支店

△建築土工用諸金物 鐵工製品一式

洋家具 HG

ダイヤ街 東京鳥料理 新京で一番大きくて 安くて美味しい 調 西料理 わかもと姉妹店

食用 学室 日本間 炭房水道浴場設備完 フランスホテル 電話 五二四へ電

話三七二五番京ダイヤ街





九砂四

**搖彩票一** 

近く松竹問題の弩級 外格佐同製田同高山 オ木伯貴 野田島山 ル正飯子造子郎郎役 リカスタ 

配當(復)城山 配當 

大地眼の名天下に定評あり世上有り觸れたる高島姓を 世上有り觸れたる高島姓を 世上有り觸れたる高島姓を がいの名を定する骨相見の類に

分手四圓圓圓圓 一城〇四六四九 五內〇〇〇〇

らも、子分の能かどさけんで注意 背後からの矢の組ひに前立なが

人にの切りけ明的れていた。

鞍馬口の捕物 (10)

日;

いて行つた政等は西口のかにかた 聖,女 部龍平轟

時の方へ行くより外に方法がなか。 を関係の高原をとび越へたかが如 5 で、勢ひ何うしても酸の道の をので、勢ひ何うしても酸の道の をかない。 ので、勢ひ何うしても酸の道の で来 へ るると知つたが、それとてもう何の意を加茂服のがへ追はうとして 切戸から外へ出ると加茂堤の方 ですることも川楽なかった。 三吉の報告で吉兵師は捕手は自 まつてをりますよ。戸口の前には

日ナかしの利く田圃の方へ出て行 が強る腕にある町筋の方がい」の

宇和島耳がひきあるとり手は、邮での場所があるとり手は、邮での田園の中に保護してあたった。

用心して進まればならなかつた。 太殿を射波がれて大幅に強れた。 一番に射られたのはいるつたが、何時回處から伏 一番に射られたのはいさいと気はくであつたが、何時回處から伏 一番に射られたのはいさいと気 である可しと課期して立てよる た弓に矢を番へて急速に射出した と見るとことを聞いて立てよる





であつたので、三部は共れにめを かのび込んだ時の機関下がそのま ・・・ やあつたので、三部は共れにめを かがけると、するくとのぼつて行っ





· 水)

中間場のたき地を越へ、自の道一次は三部であった。 ・ 中間場のたき地を越へ、自の道一次は三部であった。

た奇獣が領手の方にあらうともそ來ぬのが領地點かつた、然しどん

命で観楽だった。

御出呼ばりのかけ除さへぎこえて

間の道の方は依然として問かで

れにこだわって問題することは明

らするんで、列かこひの入口に、

「親方、無暗に用ちゃあぶのふ

今の場合男気と突吸であると、

限ひのかげに身を詰めてみたがい







臨時特製



\$ 多服のお仕度は·

台物嶄新柄入荷

婦 泌尿生殖器科 皮膚科 病

新京入船町四丁目(東三條橋北語) 設 薬

治 電話五三一三番 旅

全滿洲 この所ケー 人も残らずに スをし

答案の出し方は各薬店でお聞き下さい

理代總洲滿丹仁

(實物十五倍大圖)

阪大 舖本丹仁藥備常

得難さ口薫と増健の

ズ仁丹は

元氣恢復の增健劑として 胃腸の保健、悪疫の豫防芳香馥郁たる口薫と ばら」の香精を加へた銀粒で 今! 是非必要